

日弁連貧困問題全国キャラバン
「全ての人が人間らしく豊かに生活するために～連続市民シンポジウム」

現代の貧困のリアル みんなが生きやすい社会にするために

日 時

2024年3月2日土

13:00～15:00(開場12:30)

場 所

かでるアスピックホール

札幌市中央区北2条西7丁目かでる2・7 1階

参加費

無 料

YouTubeによる
ライブ配信も行います。

<https://www.youtube.com/watch?v=fuubJve7Ssg>



講 演

「私たちが生きやすく
なるためのABC」

講 師 竹信三恵子 さん

ジャーナリスト、和光大名誉教授

1976年、朝日新聞社に入社。同社編集委員兼論説委員、和光大学教授などを経て2019年4月から現職。2009年、非正規労働問題やワーキングプア問題などの報道活動に対し貧困ジャーナリズム大賞。著書に『ルポ雇用劣化不況』(岩波新書)、『賃金破壊～労働運動を「犯罪」にする国』(旬報社、日隅一雄賞特別賞)など。最新刊に『女性不況サバイバル』(岩波新書)。

報告

- ①日弁連からの報告
- ②生活保護利用者の声

近年、私たちの生活は大きく変化してきています。新型コロナウイルスの感染拡大、円安、物価高…これらすべてが相まって、生活が苦しくなったと感じる人は本当に増えています。

これまで、こうした生活状況の悪化に対しては、生活保護がセーフティネットの役割を果たしてきました。生活保護が必要となる状況に陥る可能性は誰にでもあります。

生活保護のこと、もう少しだけ知ってみませんか？

